

目次

はじめに	1 - 4 頁
1. 研究課題の設定	5 - 8 頁
1 - 1. 人身売買の現状	5 - 6 頁
1 - 2. 課題の設定	6 - 7 頁
2. 方法論—表現アートセラピーを応用したリサーチ手法	9 - 16 頁
2 - 1. リサーチ手法開発の経緯	9 - 11 頁
2 - 2. 表現アートセラピーについて	11 - 12 頁
2 - 3. 質的調査としての「表現アートセラピーを応用したリサーチ」	12 - 13 頁
2 - 4. 非言語的手段による調査としての「表現アートセラピーを応用したリサーチ」	13 - 14 頁
3. 人身売買問題を巡る理論的な課題	17 - 20 頁
3 - 1. 「表現」の自由の侵害としての人身売買	17 - 18 頁
3 - 2. 人身売買被害者の〈ほんもの〉の語り	18 - 19 頁
4. フィリピンにおけるリサーチワークショップ	21 - 30 頁
4 - 1. 本研究の経緯	21 - 22 頁
4 - 2. フィリピンの人身売買問題	22 頁
4 - 3. フィリピンにおけるリサーチワークショップ	23 - 27 頁
4 - 4. 本ワークショップに関する考察	27 - 28 頁
【Gina のケース】	28 - 30 頁

5. カンボジアにおけるリサーチワークショップ	31-56頁
(5-3. は、ワークショップのファシリテーターを務めたアートセラピストのリディア・タンさんの英文報告書を基にして作成したものである)	
5-1. 本ワークショップの準備プロセス	31-32頁
5-2. カンボジアにおける人身売買	32-33頁
5-3. リサーチワークショップの報告	33-54頁
5-4. 本ワークショップに関する考察	55頁
6. 全般的な考察と今後の課題	57-61頁
6-1. 全般的な考察	57-58頁
6-2. 今後の課題	58-61頁
参考文献リスト	62-64頁